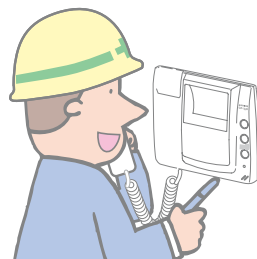


劣化診断のおすすめ

ずっと安全に、もっと安心に インターホン設備(システム)を お使いいただくために…



既設のインターホン設備(システム)の更新について

近年、設備(システム)は高度化・複雑化され、日ごろの保守・点検をもってしても他の設備機器と同様、その機能と性能の信頼性の維持には、経年的な限界を避けて通ることはできません。

更新期間が遅れると不測の事態を招くおそれがあり、設置後の一定期間を経過したときに設備(システム)の更新をしていただくことが望ましくなります。

主要インターホン設備(システム)設置後の更新期間と有寿命部品推奨更新年数の目安について、右記のように設定されています。



*右表は、各部品・ユニットのグレード、使用条件、システム構成状況、等によって変動するため、おおよその交換時期を示すもので、この期間の動作を保証するものではありません。

主要インターホン設備(システム)の更新期間

主要インターホン設備(システム)	おおよその更新期間
病院用・高齢者施設用インターホンシステム	12年

*上の主要設備(システム)の記載年数は、設置後の更新を必要とするおおよその期間であり、品質保証・修復対応等の期間ではありません。

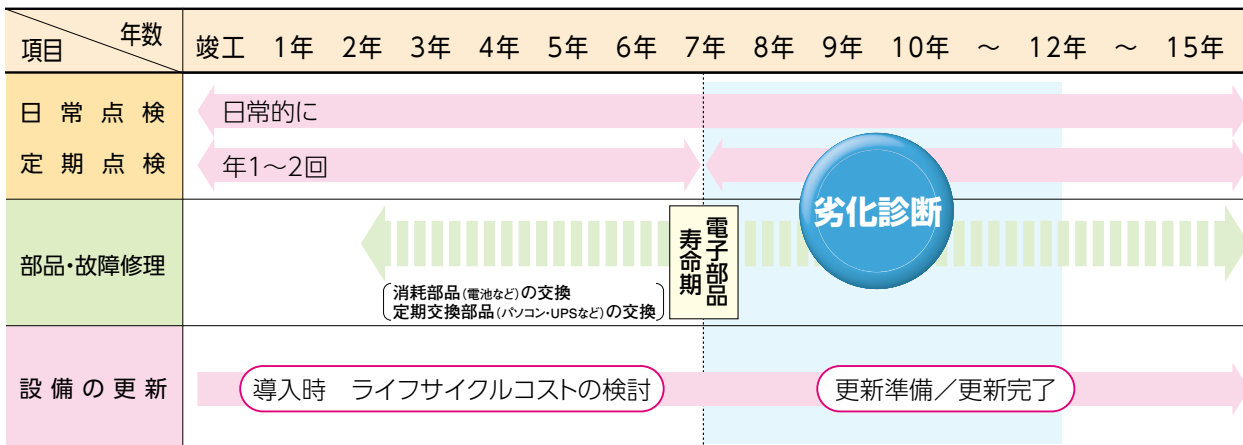
有寿命部品推奨更新年数の目安

対象部品・ユニット	更新年数の目安
スイッチング電源	4年
UPS(無停電電源装置)本体	6年
UPS(無停電電源装置)電池	3年
CRTディスプレイ	4年
LCDディスプレイ	5年
パソコン本体	5年
ハードディスク	3年
フロッピーディスクドライブ	5年
冷却ファン(UPS用を含む)	3年
プリンタ	5年

診断対象：主要電子部品寿命期(7年)以上ご使用いただいている設備。

● 病院用・高齢者施設用インターホン

病院用・高齢者施設用インターホン設備(システム)メンテナンスと劣化診断



((一社)インターホン工業会広報資料より抜粋)